



令和7年度福岡貿易会 年末講演会・交流会

●年末講演会

令和7年12月2日(火)にホテルニューオータニ博多にて、令和7年度福岡貿易会年末講演会、会員交流会を開催しました。

年末講演会は、株式会社 QUICK 代表取締役会長の高見 信三氏を講師にお迎えし、「日本は復活できるか？ 2026年の世界・市場展望」と題して、ご講演いただきました。



講師の高見氏

はじめに、1990年代初頭のバブル経済崩壊以降、日本経済が長期にわたり低成長、デフレ、停滞に苦しんだ期間である「失われた30年」を解説いただきながら、デフレ脱却に向けた今後の展望についてお話いただきました。

その後、高市新政権による影響について、人口減少・少子高齢化においても成長できる根拠として、労働投入量が減少しても、資本投入量を増加させ、技術革新を図ることをご教示いただきました。

さらには、将来的な戦略的産業政策としてカギを握るのが、「官民連携」であり、次世代産業を創るために、重要視すべき事項であるというお話をいただきました。

興味深いお話が次々となされ、予定の時間を少し超えてしまいましたが、ご参加の皆様からは、もう少し話を聞きたかったという声を多くいただき、大盛況の講演会となりました。

●年末交流会

年末講演会の後、会場を移動し、会員交流会を開催しました。冒頭に道永会長によるご挨拶、続いて、中村副市長より来賓のご挨拶を頂戴した後、津田副会長の発声により乾杯しました。年末のお忙しい時期にも拘らず、多くの来賓の方々にご出席いただきありがとうございました。



道永会長



中村副市長

また、今回は初の試みとして、スタートアップ企業5社の方々にご参加いただき、途中ピッチを挟みながら新たな交流を図りました。



スタートアップ企業のピッチ

最終的に140名以上の皆様にご参加いただき、大変賑やかな会となりました。

さらには、参加者同士が業界を超えて幅広い交流を行い、懇親を深める場となりました。



交流会の様子